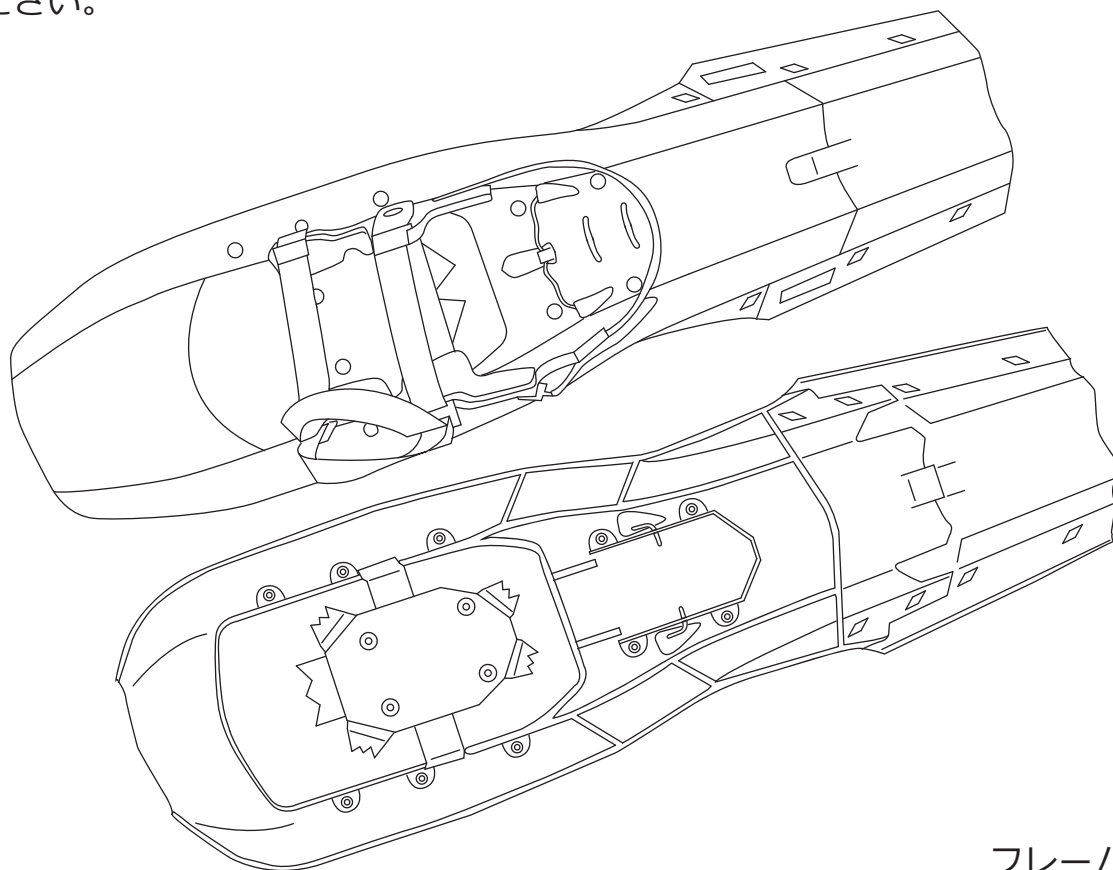
SW20140714

2WAY エクストラスノーシュー取扱説明書

型番：SW-27/28

本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本製品をご使用の際は、必ず本書をお読みいただきご理解の上ご使用ください。
また、お読みいただいた後もこの説明書は大切に保管してください。お買い上げ日または、商品到着後7 日間以内に不具合が無いかをご確認くださいますよう、お願いいたします。
該当期間を過ぎた場合は、製品保証の対象外となる場合もございますので、あらかじめご了承ください。

フレーム：ポリプロピレン
クランポン：スチール

安全上のご注意

使用者および他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、ご購入いただいた商品を安全に正しくお使いいただくために、以下に書かれたご警告注意事項を必ずお守りください。

警告	死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容を示しています。

本製品は、スノーシューです。本格的な雪山登山には使用しないでください。
歩行中は定期的にバインディングに緩みが無いか確認し、適時締め直してください。
裏面のクランポンは鋭利な金属です。人に向けることは絶対におやめください。
本製品は、スノーシューとして使用することを目的に設計されています。 本来の用途以外には使用しないでください。

注意	傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容を示しています。

ご使用前の準備運動とご使用後の整備運動を充分に行ってください。
ご使用の前に、毎回必ずゴムバンド・バックル・クランポンなどにキズや破損がないかを確認してください。
使用後は水分を完全に取り除いてから保管して下さい。また、乾燥機など熱を加える乾燥はしないでください。
高温多湿を避け、直射日光の当たらない場所で保管してください。
天候不順（強風・大雨・雷・大雪など）の時、またはそれが予想されるときは使用しないでください。

※ 本製品を廃棄の際は、各地方自治体の廃棄区分に従って廃棄してください。

※ 製品の箱は保証をお受けになる際に必要となる場合がございますので、初期不良が無いことをご確認いただいた上で処分してください。

※ 本製品の使用により発生した、直接および間接の傷害・損害につきましては弊社は一切の責任を負わないものとします。

各部の名称

〈表〉

プレート

テイル

つま先部バインディング

甲部バインディング

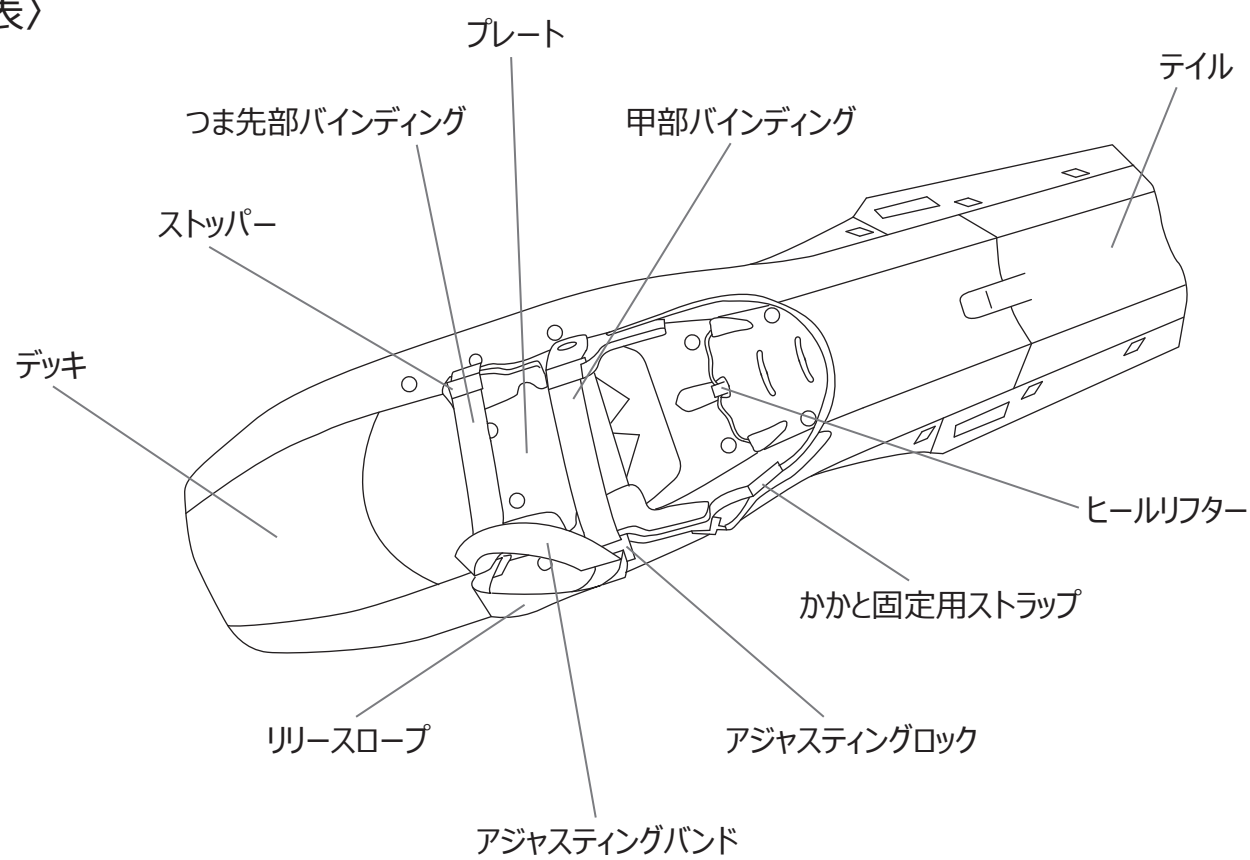
ストッパー

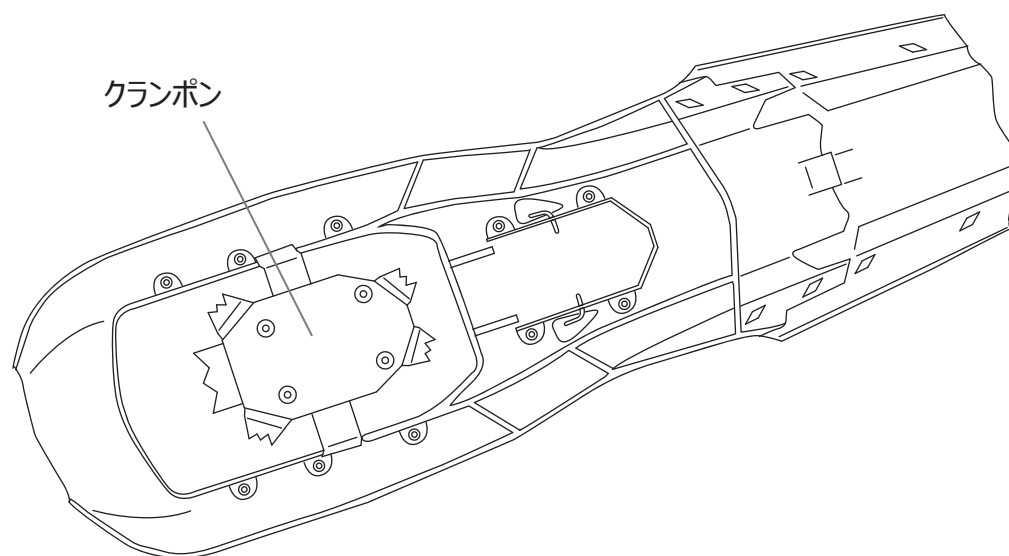
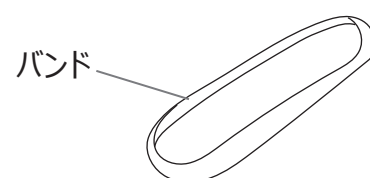
デッキ

ヒールリフター

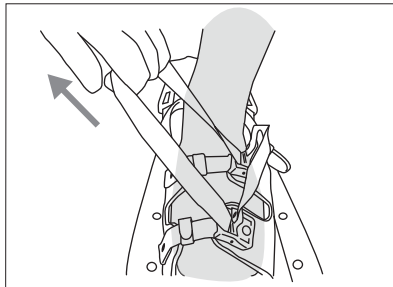
かかと固定用ストラップ

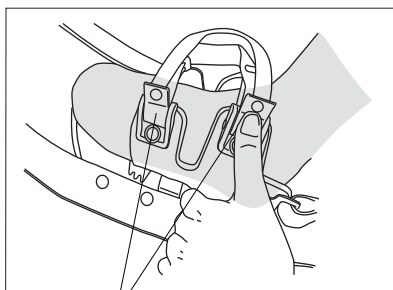
リリースロープ

アジャスティングロック

アジャスティングバンド

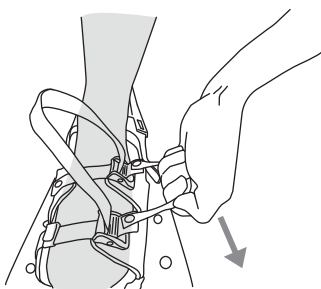
〈裏〉

付属品

スノーシューの装着方法

※スノーシューを傷めないよう、 装着は雪のある場所で行ってください。

バンドを締める

スノーシューの装着方向（左右）の確認を行ってください。
※アジャスティングバンドが外側に位置するように装着してください。
シューズをプレートに乗せ固定し、アジャスティングバンドを上に引き上げます。
細かい締め具合の調整は、各バンドのアジャスターで
つま先部、甲部ともに調整します。
かかと固定用ストラップを、 かかと部のアジャスターに通し、
しっかりと靴のかかと部が固定できるまで締めてください。
余ったストラップは、 ストッパーに挟み収納してください。

ロック状態

アジャスティングロック

アジャスティングロックを図のように指で押してロックしてください。
※締める強度は、 足が痛くならない程度に締めてください。
無理に締めるとアジャスターの破損につながります。

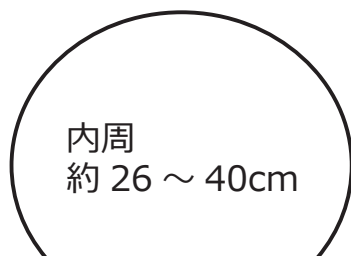
バンドを緩める

緩める場合は、ストッパーからバンドを外し、アジャスティングロックを外します。
リリースロープを斜め下に引っ張るとアジャスターが開き、
自然とつま先部、甲部のバンドが緩みます。

適応するシューズ

下図は本製品バインディングの最大および最小の内寸（円周）を表示しています。

シューズの外周が下図の表示数値範囲内であれば装着可能です。

また、本製品は、全長26－36cm（外寸）のシューズに対応しています。

※ シューズの形状により装着できない場合があります。

※これらの数値は、バインディングのバンド内径の計測数値です。この数値とほぼ同サイズのシューズは装着できない可能性がありますので、サイズには余裕のあるシューズを使用してください。

■適応するシューズの種類■

防水性のある登山靴、スノーブーツ、またはスノーシュー専用シューズをご用意ください。

その他、スノーボード用のソフトブーツでもご使用いただけます。

※スキーシューズはご使用できません。

耐荷重

テイル装着時…110kg
テイル未装着時…85kg

※耐荷重は測定値であり保証値ではありません。目安として予めご了承ください。

雪上での歩き方

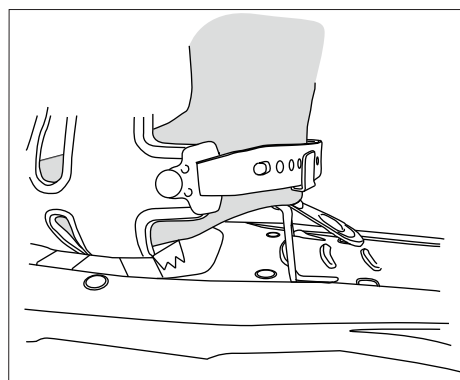
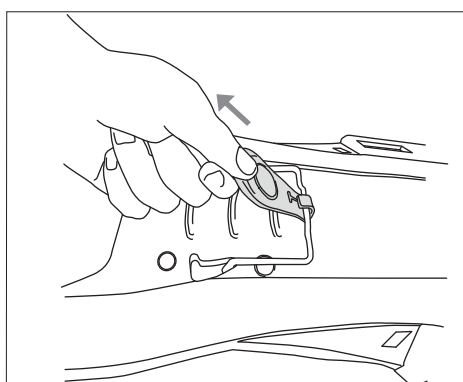
左右のスノーシューが接触しないよう、足を開き気味にして歩きます。また、場所によってはスノーシューが雪の中に沈んでしまう場合もありますが、 沈んだ場合はつま先が上を向くようにゆっくりと足を動かして抜いてください。柔らかい雪面上では雪面に対しスノーシューが水平になるようにし、 雪面を踏み固めながら歩きます。硬い雪面上ではクランポンが雪に刺さるよう、 雪面を踏みしめながら歩きます。

斜面の登り方/下り方

斜面を登る場合は、図のようにヒールリフターを立ち上げ、かかとを乗せます。

※ヒールリフターを立ち上げない場合、踏み込んで登る時足への負担が大きくなります。

※深雪、アイスバーンなどではグリップ力が低下するため、ご使用は避けてください。

斜面を下る場合は、ヒールリフターを下げてご使用ください。

テイルの着脱について

テイルを装着することによりデッキの面積が広くなり、スノーシューの浮力が上がります。
必要に応じてテイルを装着してください。
テイルフックをうえに上げることで、着脱が可能です。